

★最上級生、受験生、卒業生として！

先日、入学式を終え、いよいよ今年度の西仙北中学校が、全校生徒143名でスタートしました。今年一年、3年生は『〇〇生』と括られることが多いです。

一番初めに言われるのが『最上級生』。ただの上級生でなく、『最』のつく意味を考え、相応しい行動をしてほしいものです。私は、「西仙北中の顔」として後輩にとって、「憧れの存在」になってほしいと思います。きっとそういう存在に、みなさんはなれると思います。

続いて、『受験生』。ただ、勉強を一生懸命やるということではないと思います。自分で自分の未来をどう思い描くのか？このことがとても大切だと思います。高校進学だけでなく、「なりたい自分」に向けて一生懸命に努力していきましょう。将来、実際に働くことになったときの力を身に付けましょう。

最後は、『卒業生』。卒業式の際に、奏星学年のみなさんの胸にはどのような思いが巡るのか？それは、今年一年間がんばりにかかっています。これまでこの学年を持ち上がったか？栗山先生は、学年集会で「涙、涙の卒業式にしたい！」と話していました。私たち3年部職員も同じ気持ちです。しかも、「10期生は、奏星学年は、〇〇だった」というように、『卒業生』としての呼ばれ方は、卒業後もずっと続きます。

今年一年間、奏星学年43名が「OneTeam」となって全速力で駆け抜ける一年にしましょう。

昨年度の振り返りと三年生の目標

齋藤

中学校生活の二年が終わり、いよいよ最後の一年となりました。私がこの一年で頑張りたいことは二つあります。

一つ目は勉強です。受験生となり、目標も明確になってきました。これまでの勉強方法を見直し、学習内容をより質の高いものにできるよう、取り組んでいきたいです。また、テストの回数も多くなり、はじめは慣れないかもしれませんが、自分の目標に向かってより一層努力していきたいです。

二つ目は部活動です。昨年度は大会が中止になったり、練習自体ができなくなったりして、限られた環境の中で取り組んできました。先輩方が引退し、自分たちが中心になってからは何度も挫折しました。そのたびに気持ちを入れ直し、精神面を鍛えてきました。個人としてもチームとしても、まだ成長できると思います。今年度も大会等がどうなるかは分かりません。だからこそ、仲間たちを信じ部の横断幕にも書かれている「夢実現」の言葉どおり、全県大会出場を果たせるよう頑張っていきたいです。

奏星学年は今日から三年生、最上級生となります。私は、周囲の人から「受験生」・「最後の一年」などと言われる中で、改めて実感しました。この一年は一人一人が自分の道を進むための大切な時間です。最高学年として、今まで以上に求められることも増えていくでしょう。その一步一步をしっかりと歩みながら、悔いの残らない時間を過ごしたいです。そして、西仙北中学校として一心精進できるよう、学校を引っ張っていきます。

